



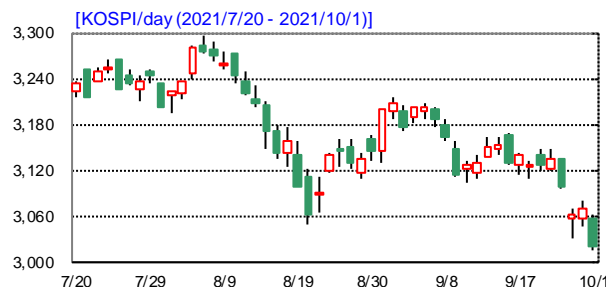
【韓国】 総合指数は週間で 3.4%安と大幅続落、今週は買い戻し優勢か

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 3.4%安と大幅に続落。週明け 27 日は外国人投資家がソウル株を 8 日連続で買い越したことで 3 営業日ぶりに反発したが、その後失速した。28 日は中国恒大集団の債務問題や電力不足による中国景気の減速が警戒されて反落し、終値は心理的節目の 3100 ポイントを割り込んだ。

29 日は米国の長期金利の上昇と主要株価指数の下落を受け続落。30 日は 3 日ぶりに反発したものの、1 日は前日の米株安や韓国国内の新型コロナウイルスの新規感染者数が嫌気されて反落。終値は 3 月 25 日以来ほぼ半年ぶりの低水準だった。今週は反発か。前週発表の韓国の 9 月の輸出や製造業 PMI が強い内容だっただけに、買い戻しが相場を支える見通し。節目の 3000 ポイントが下値支持線として意識されそうだ。

▼指数チャート

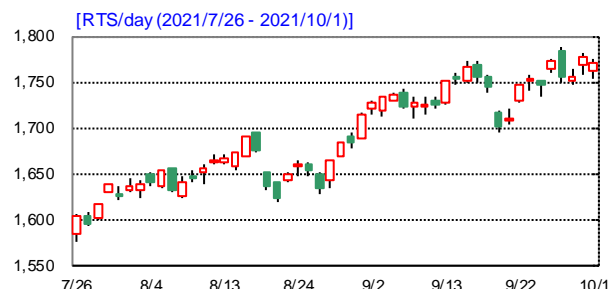


【ロシア】 RTS 指数は 1.4%高と 3 週続伸、今週も原油相場や海外株が焦点か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 1.4%高と 3 週続伸。原油高を好感したエネルギー株に加え、ズベルバンク・オブ・ロシアが上昇し、指数を押し上げた。週明け 27 日は前週末比 1.5%高と反発。ブレント原油が節目の 80 ドルに迫ったことを好感したエネルギー株の上昇が相場をけん引した。その後は海外株安が重しとなる場面もあったが、原油高を受けたエネルギー株の上昇が相場を支えた。ブレント原油は一時 80.75 ドルと 3 年ぶりの水準まで上昇し、週間では 1.5%高と 4 週続伸。個別ではエネルギーのスルグトネフテガスが 10.2%高と急伸し、タトネフチとガस्पロムも 5%超上昇した。時価総額上位のズベルバンク・オブ・ロシアは 4.0%高。一方、鉄鋼株や産金株などが下落した。今週も原油や海外株に左右される展開か。

▼指数チャート



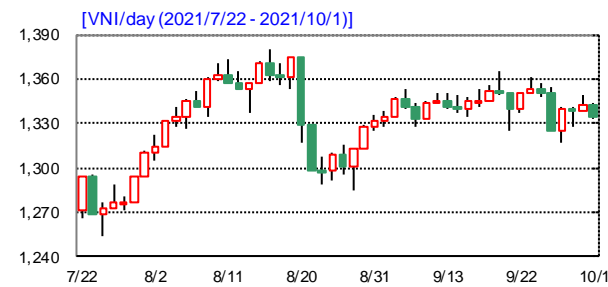
【ベトナム】 ベトナム指数は週間で 1.2%安と続落、今週は強弱感対立でもみ合い

か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 1.2%安と続落。主力株に利益確定売りが強まったことで週明けに大きく下落した。27 日は食品加工のマサン・グループや不動産株に個人投資家の利益確定売りが強まり、指数は前週末比 1.9%安と大幅続落。28 日は主力株に押し目買いが入る中、海外勢が買い越しに転じ、1.1%高と反発。30 日も 0.2%高と上昇したが、1 日は再び 0.5%安と反落した。個別ではエネルギーのペトロベトナム・ガスが 13.7%高、鉄鋼のホア・ファット・グループが 5.1%高となった一方、金融のベトインバンクが 6.2%、軍隊商業銀行が 4.4%、ベトコム・バンクが 3.6%、テクコムバンクが 3%下落し、ゴム製品のベトナム・ラバー・グループとマサン・グループもそれぞれ 2.4%安、1.7%安となった。今週は強弱感対立でもみ合う展開か。

▼指数チャート



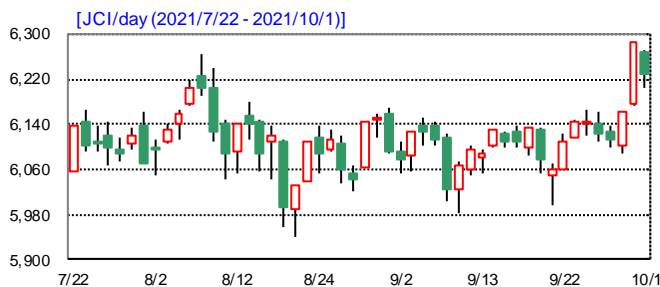


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.4%高、22 年度予算の承認を好感

ジャカルタ総合指数は週間で 1.4%高と 3 週続伸。9 月月間では 2.2%高。先週は週末の下落が上昇幅を縮めた。週初の 27 日は、中国株の下落に連動して 4 営業日ぶりに反落。28 日は中国恒大集団の先行きに対する不透明感や中国の電力不足が嫌気されて続落したが、29 日は引け際の買いが奏功し、反発した。30 日は国会で 22 年度予算が承認されたことが買い材料となり、終値ベースで前日比 2.0%高と約半年ぶりの高値を更新。ただ、1 日は反動で 3 日ぶりに反落して取引を終えた。今週は国内の重要イベントが少なく、中国も国慶節の祝日で 7 日まで休場となる中、前週末に NY ダウが反発した効果が期待される。

▼指数チャート

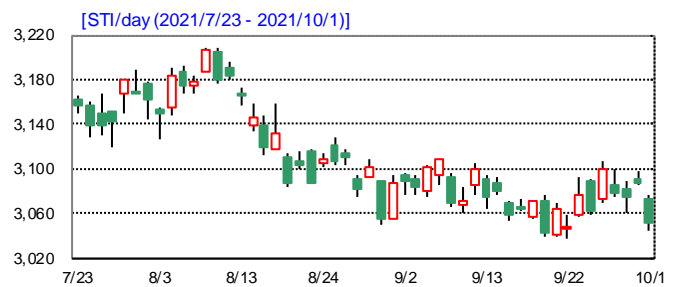


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.3%安、今週は 9 月の製造業 PMI に期待

ストレーツタイムズ指数は週間で 0.3%安と 3 週続落。9 月月間では 1.0%高。先週は週末の下落が響いた。週初の 27 日は、金融通貨庁とマレーシアの中央銀行が両国の電子決済システムを 22 年に相互接続する計画を発表した効果で銀行大手 3 行が買われ、指数は前営業日比 1.3%高と反発。一方、28 日は中国で深刻化する電力不足による製造業への影響が懸念されて反落すると、29 日も売り優勢の展開が続いた。週後半は 30 日に反発したが、1 日は前日の NY ダウが大幅下落した流れで、前日比 1.2%安と反落している。今週は 4 日の取引終了後に 9 月の製造業 PMI、5 日に 8 月の小売売上高が発表される予定。

▼指数チャート

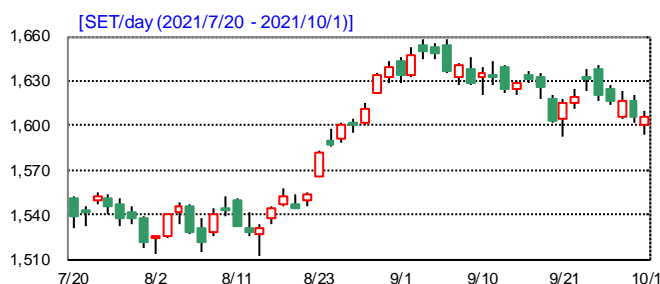


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 1.6%安、銀行業界の業績悪化見通しを嫌気

SET 指数は週間で 1.6%安と反落。9 月月間では 2.0%安。先週は買い材料に乏しく、さえない値動きが続いた。連休明けの 27 日は、利益確定売りで 4 営業日ぶりに反落。28 日はバンコク郊外で発生した洪水による被害が懸念されて続落したが、29 日は 8 月の鉱工業生産が前年同月比 4.2%減と 6 カ月ぶりに前年の水準を下回ったものの、指数は前日からほぼ横ばいだった。30 日は 7-9 月期の業績悪化が見込まれる銀行株と原油価格下落の影響を受けたエネルギー株が売られて反落。1 日は小幅に続落して取引を終えた。今週は 5 日に 9 月の CPI が発表される予定で、2 カ月ぶりに前年の水準を上回るかが焦点となる。

▼指数チャート

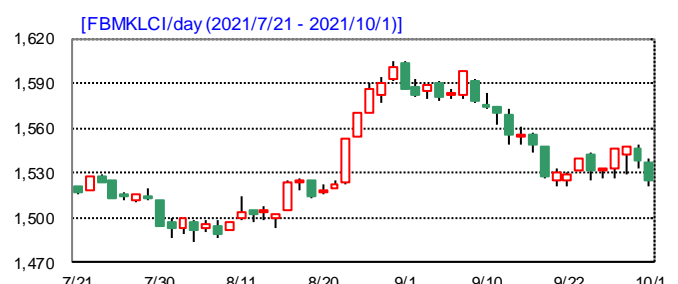


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.5%安、週後半の下落で 5 週続落

クアラルンプール総合指数は週間で 0.5%安と 5 週続落。9 月月間では 4.0%安。先週は週後半の下落が痛手だった。週初の 27 日は、イスマイルサブリ首相が下院議会で発表した 25 年までの 5 カ年計画の内容が好感され、指数は小幅反発。28 日は計画に盛り込まれた開発費が過去最高額となり、恩恵が期待される工業株とヘルスケア関連株の一角が買われて続伸した。29 日は引け際の買いが奏功し上値を広げたが、30 日に利益確定売りで 4 日ぶりに反落すると、1 日は前日の NY ダウが大幅反落した流れを引き継ぎ、続落して取引を終えている。今週は国内の重要イベントが少なく、外部要因が指数を左右する展開か。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。